

# 平成28年12月森町議会定例会会議録

1 招集日時 平成28年12月13日(火) 午前9時30分

2 招集場所 森町議会議事堂

3 開会・開議 平成28年12月13日(火) 午前9時30分

4 応招議員

1番議員	中根信一郎	2番議員	岡野豊
3番議員	伊藤和子	4番議員	小澤哲夫
5番議員	吉筋恵治	6番議員	中根幸男
7番議員	鈴木托治	8番議員	西田彰
9番議員	亀澤進	10番議員	山本俊康
11番議員	片岡健	12番議員	小沢一男

5 不応招議員 なし

6 出席議員 応招議員に同じ

7 欠席議員 なし

8 地方自治法第121条の規定に基づき議場に出席した者の職氏名

町長	太田康雄	副町長	鈴木寿一
教育長	比奈地敏彦	総務課長	村松利郎
防災監	富田正治	企画財政課長	長野了
税務課長	村松達雄	住民生活課長	幸田秀一

保健福祉課長	村松成弘	産業課長	三浦強
建設課長	村松弘	上下水道課長	高木純一
学校教育課長	西谷ひろみ	社会教育課長	鈴木富士男
病院事務局長	西谷勉次	会計管理者	小島行雄

9 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長 三浦健 議会書記 高木孝真

10 会議に付した事件

- 議案第78号 森町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例について
- 議案第79号 森町税条例等の一部を改正する条例について
- 議案第80号 森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 議案第81号 森町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の  
人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正  
する条例について
- 議案第82号 森町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービ  
スの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予  
防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に  
係る基準に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第83号 森町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
- 議案第84号 平成28年度森町一般会計補正予算（第8号）
- 議案第85号 平成28年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第86号 平成28年度森町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第87号 平成28年度森町水道事業会計補正予算（第2号）
- 議案第88号 平成28年度森町病院事業会計補正予算（第3号）
- 議案第89号 静岡県市町総合事務組合規約の変更について
- 議案第90号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定について
- 議案第91号 森町道路線の廃止について
- 議案第92号 森町道路線の認定について

< 議事の経過 >

議長 ( 片岡 健 君 ) 出席議員が定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

日程第 1、議案第 78 号「森町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議長 ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。

日程第 2、議案第 79 号「森町税条例等の一部を改正する条例について」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

12 番、小沢一男君。

12 番議員 ( 小沢一男君 ) 1 点教えていただきたいと思います。町長から、新旧対照表の附則の中のご説明が私たち素人には分かりません。新旧対照表 8 ページ、特定一般医薬品の購入費を支払った場合の医療費の控除の特例ということで、町長からご説明がございました。

認識的には、医療品の控除の特例のご説明だと思っておりますけど、細かいことは素人ですんで分かりませんが、町長から一定の市販医薬品というもののご説明がございました。お教えいただきたいのは、スイッチというのは分かりますが、OTC 医薬品という中で、この前もちょっとテレビでやっていたのを見たことがありますけども、特定の一般医薬品の購入費を支払った場合の医療費の控除という中で、これ税の控除対象になりますので、例えば今後、領収書等々が必要になってくると思うんですね。そういう中で、この OTC 医薬品というのは、一般市販品、今の市販薬品も含まれながら処方箋でいただいた薬と同等の薬が販売されるという中で、レ

シートなんかの分類はどういうかたちで出てくるのか、お分りでしたら教えていただきたいと思います。

あともう1点ですが、対象となる人は、例えば特定健診を受けた人でなければ駄目だよとか、定期健診を受けている人でなければ駄目だよとか、そういう指定がその中には含まれているのかお教えいただきたいと思います。

議長 (片岡 健 君) 税務課長。

税務課長 (村松 達雄 君) 税務課長です。今の医療費控除の特例ということでございますが、適正な健康管理下で医療用の医薬品から一定のスイッチOTC医薬品と呼ばれる市販医薬品を購入した場合に用いられる制度でございまして、セルフメディケーション税制控除と呼ばれています。

それでスイッチOTC薬ということでございますが、OTCというのはオーバー・ザ・カウンターという意味で、町の薬局のカウンター越しに売られる薬、つまり市販品のことを指しています。以前は医薬品であったものが、市販品として薬局でも買えるようになり、販売が許可されたものを医薬品から市販薬にスイッチされたということからスイッチOTC薬といいます。カウンター越しが語源になっておりますが、実際には一般の薬屋さんとかドラッグストアで、そのまま購入できるものもあります。

指定された対象品目については、多岐にわたっておりますが、厚生労働省のホームページで確認ができます。

それで領収証等ということでお話がありましたけれども、一般の医薬品として、これから具体的な表示がされてくると思いますけれども、セルフメディケーション税制対象というような共通識別マークが表示される予定でございます。それから領収書にも商品名、金額、セルフメディケーション税制対象薬品を示す表記、販売店名、購入費、購入日が表記される予定であります。

それから対象者のお話でしたが、これについては健康の維持、増進の取り組みをするということでございますので、一応今

考えられておりますのが、特定健康診査、予防接種、定期健康診断、健康診査、がん検診等を受けた者ということで、これを証明する書類が必要になってきております。

なお、詳細については、今この間も税務署の方の研修がございまして、いろいろ聞いたわけですが、まだ詳細については、その場でも詳しく説明がございませんでした。今後税務署等と連携を取りながら、広報や回覧、ホームページ等を使いまして、またご説明をしていきたいと思っております。以上です。

議長  
12番議員

( 片岡 健 君 ) 12番、小沢一男君。

( 小沢一男 君 ) 税務課の皆さんの研修の中で、まだ詳細は分からないということでございます。そうしますと厚生労働省は、まだ分からないということは、素人考えで申し訳ないんですが、市販品といわれる医薬品が多すぎて、病院なんかで処方されるものと同等のもの、市販品でどこでもドラッグストアでも買えると言われたんで、医薬品の数がまだそろっていないという考えでよろしいですか。もう1点は、高額医療品もこの中には入るのか伺います。

議長  
税務課長

( 片岡 健 君 ) 税務課長。

( 村松達雄 君 ) 先ほど申し上げましたとおり、一応控除対象のものについては厚労省のホームページ等に列記されておりました、かなりの数が上がってしまして、それが該当するということです。

それから税控除対象の共通識別マークというのもありまして、それも表示される予定です。領収書にも、先ほど申し上げましたように、商品名、金額、当該商品がその対象商品ということで表記される予定ですので、その辺のところは予定ということですが、具体的な詳細についてはまだ不明ということでございますので、それは後ほどまた、ホームページ等を通じまして、町民の皆さまにお知らせしていきたいということです。

高額医薬品というのは、厚労省のホームページに、それぞれ見ておりませんが、一般には市販品ということですので、通常の医

薬品になるかと思えます。以上です。

議長  
6番議員

( 片岡 健 君 ) 6番、中根幸男君。

( 中根 幸男 君 ) 6番、中根幸男でございます。ただいまのスイッチOTC薬、まだ一般的には聞き慣れない言葉かと思えますけれども、医療薬、いわゆる医師の処方箋が必要だった医薬品から、一般薬に転用したもので、種類も多いと聞いております。1点ですね、今回の制度を創設の背景といいますか狙い、これについて伺いたいと思えます。

それから従来の医療費控除との関係については、どのようになっていますか伺います。

議長  
税務課長

( 片岡 健 君 ) 税務課長。

( 村松 達雄 君 ) 税務課長です。1点目のご指摘の背景・目的でございますが、医療費の方が年々増大しています。この増加し続ける医療費の問題を背景に、適正な健康管理の下で医療用医薬品から代替を進めることで、医療費の全体を圧縮しようというのが制度の創設の目的と聞いております。

それから従来の医療費控除との違いですが、現行の医療費控除が医師等の診察、治療の対価、治療・療養に必要な医薬品の購入の対価であるのに対しまして、セルフメディケーション税制控除はスイッチOTC医薬品の購入対価となっています。しかしながら実際には、セルフメディケーション税制控除というのは、現行の医療費控除の補完的な役割を果たしておりまして、現行の医療費控除とセルフメディケーション控除の大きい方を選択するという制度となっています。

もう少し大ざっぱな言い方をしますと、一般的な例として、医療費の12千円から100千円まではセルフメディケーション控除のみということで、100千円を超えた場合に、従来の医療費控除とセルフメディケーション税制控除の有利な方を選択するというふうなケースになると思えます。具体的なケースは様々ありますので、それぞれまたご検討いただけたらと思えます。以上です。

- 議長 (片岡 健 君) 6番、中根幸男君。
- 6番議員 (中根幸男君) そうしますと、今回の特定一般用医薬品にかかる医療費控除につきましては12千円から100千円までの範囲と。そして、従来の医療費控除については、一般的には100千円以上と。そのどちらかを選択するというような考えでよろしいのかどうか。
- 議長 (片岡 健 君) 税務課長。
- 税務課長 (村松達雄君) おおむねその通りです。100千円以下はセルフメディケーション税制控除のみということで、100千円以上について、どちらか有利な方ということになります。以上です。
- 議長 (片岡 健 君) 6番、中根幸男君。
- 6番議員 (中根幸男君) これ対象が29年1月1日以降ということでございます。5年間の時限立法にもなっております。そういうことで直接の住民の皆さんにも関わることでありますので、今後住民の皆さんへの周知、これをどのように行っていくのか、その点をお聞きしたいと思います。
- 議長 (片岡 健 君) 税務課長。
- 税務課長 (村松達雄君) 一般の住民の皆さんにも影響のあることでありますので、先ほど申し上げましたとおり、回覧、広報、ホームページ等で周知をしていきたいと思っております。なお住民税の控除だけでなく、所得税の控除でもありますので、これについては、税務署と連携をしながらPRを、周知をしていきたいと思っております。以上です。
- 議長 (片岡 健 君) 他に質疑はありませんか。
- 3番議員 (伊藤和子君) 3番、伊藤です。2017年から医療費控除の制度が、変更があるということで、先ほど課長からご説明がございましたように、セルフメディケーション推進のためのスイッチOTC薬の控除ということでございますけれども、対象となる方が、適切な健康管理のもとで医療用医薬品からの代替を進める視点から、健康の維持増進及び疾病の予防への取り組みとして、一定の取り組みを行う個人となっております。この一定の取り組みとは、検診や

医師の関与がある予防接種となっておりますけれども、検診や予防接種を受けていない方は控除の対象外ということですのでよろしいのでしょうか。

もう1点お伺いします。現行の医療費控除は併用できないということですのでよろしいのでしょうか。例えば、医療費の合計が高額になった場合は、現行の医療費控除にした方がお得な場合もあるということで、そのように受け取ってよろしいのでしょうか。

議長 (片岡 健 君) 税務課長。

税務課長 (村松 達雄 君) 対象者については、一応今のところ聞いているのは、特定健診、予防接種、定期健康診断、健康診査、がん検診を受けた者ということで、これを証明する書類も必要となっておりますので、ない場合は対象外だと考えております。

それから、医療費控除との関係ですが、先ほど説明をしましたがけれども、セルフメディケーション税制については100千円以下ということで、今までの医療費控除を補完するかたちになります。高額の場合等あった場合は100千円以上の従来の医療費控除と、セルフメディケーション税制控除の有利な方を選択するというかたちになります。以上です。

議長 (片岡 健 君) 他に質疑はありませんか。

8番、西田彰君。

8番議員 (西田 彰 君) 8番、西田です。町長の、議案に対する説明の中に、4月において再生可能エネルギーの施設の固定資産税、これはわがまち特例として3分の2というふうに決めて専決処分をしたと。この3分の2とした根拠があったと思うのですが、その根拠はどんなところにあったのでしょうか。

また、わがまち特例と謳っている中で、近隣市町とわずか6箇月・7箇月で他の市町と合わせていくっていうのはいかがかなと思うわけですが、その辺はどうでしょうか。

議長 (片岡 健 君) 税務課長。

税務課長 (村松 達雄 君) わがまち特例についての特例率を定めると



いうことで、太陽光・風力発電については「2分の1以上6分の5以下」の範囲、水力発電・地熱発電・バイオマス発電については「3分の1以上3分の2以下」という範囲で定められるというようなことになっております。

当初のところは、この範囲内で定めるということで、全て3分の2ということで、現在のところ、実際の例もございませんでしたので、3分の2ということで決定をしたんですが、その後近隣の状況が分かってきておりまして、やはり、いろいろこういったエネルギー施設の推進を図る中で、近隣と合わせるのがいいだろうということで、速やかに変更したいということで、今回の変更をお願いするものでございます。以上です。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 8番、西田彰君。

8番議員 ( 西田 彰 君 ) これによって、太陽光をやられた方の固定資産税の負担が多くなるのか安くなるのか、その辺はいかがでしょうか。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 税務課長。

税務課長 ( 村松達雄 君 ) 今回の変更については、太陽光、風力発電については該当がございませんので、影響はございません。以上です。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議 長 ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。

日程第3、議案第80号「森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議 長 ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。

日程第4、議案第81号「森町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一

部を改正する条例について」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

8番、西田彰君。

8番議員 (西田彰君) 対象となるのが、小規模の19人以下とか、そういったデイサービスの関係だと思えますけど、県の管轄から各市町に移管されるということのようではありますが、人員も、設備に関しても、利用者に対する負担というものも、変わらずこの改正がされるのでしょうか。

それから、市区町村に移管されることになりましても、その対応はこの森町で万全であると認識してよろしいでしょうか。市区町村独自で決めなければいけない介護職員の報酬とか、そういったものも決めるためには、専門委員会を作ることになっておりますが、その辺はいかがでしょうか。

議長 (片岡健君) 保健福祉課長。

保健福祉課長 (村松成弘君) 保健福祉課長です。ただいまの西田議員のご質問にお答えします。1点目の負担等につきましては、現行の県の制度と同様でございますので、負担は変わりません。

2点目の対応は万全かというようなことでございますけども、やはり指導、監督につきましては市町の方に委譲されていくというようなかたちでございますので、そのあたりにつきましては、県が主催する研修、若しくは、近隣の共同で実施する研修等に参加いたしまして知識の習得に努めてまいりたいと思っております。以上です。

議長 (片岡健君) 8番、西田彰君。

8番議員 (西田彰君) 現時点でそういった専門委員会の人員の確保というものは大丈夫なのでしょうか。

議長 (片岡健君) 保健福祉課長。

保健福祉課長 (村松成弘君) 現在の人員で何とか対応はできると考えております。以上です。

議長 (片岡健君) 他に質疑はありませんか。

- 議 長 ( 発言する者なし )
- ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。
- 日程第5、議案第82号「森町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について」を議題とします。
- これから質疑を行います。
- 質疑はありませんか。
- 議 長 ( 発言する者なし )
- ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。
- 日程第6、議案第83号「森町営住宅管理条例の一部を改正する条例について」を議題とします。
- これから質疑を行います。
- 質疑はありませんか。
- 議 長 ( 発言する者なし )
- ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。
- 日程第7、議案第84号「平成28年度森町一般会計補正予算（第8号）」を議題とします。
- これから質疑を行います。
- 質疑はありませんか。
- 6番議員 6番、中根幸男君。
- ( 中根 幸男 君 ) 6番、中根幸男でございます。7・8ページの関係について、2・3質問させていただきます。
- 6款1項3目、農業振興費、0001農業振興事業費の担い手確保・経営強化支援事業費補助金8,552千円と、同じく、産地パワーアップ事業費補助金24,446千円ですが、これにつきましては、国の補正予算で措置された補助金を活用したということで、提案説明もありましたけども、もう少し詳しい内容についてお伺いをいたします。
- それから、その下の山村振興事業費、山村振興地域茶業振興整備

事業補助金6,760千円ですが、これにつきましては荒茶製造工程への色彩選別機導入に対する補助金ということでございます。その内容について伺いたいと思います。

もう1点、9・10ページ、9款1項3目、消防施設費の修繕費4,137千円ですが、これについては、消防署の定期点検で消火栓の不良箇所が見つかったということで、金額から想定しますと、比較的大がかりな修繕になるかと思いますが、箇所数と場所、修繕の内容についてお伺いします。

議長 (片岡 健 君) 産業課長。

産業課長 (三浦 強 君) 産業課長です。ただいまの中根議員の質問にお答えさせていただきます。

最初に農業振興費、0001農業振興事業費、担い手確保・経営強化支援事業費補助金8,552千円ございます。これにつきましては、本年度当初予算におきまして、中川上地区の茶生産農家が、乗用型の茶園管理機を導入したわけでございます。これも国庫補助事業を使っての事業でありまして、経営体育成支援事業、10分の3の補助でございますが、これを基本とされまして、T P P 関連対策として本年度補正予算にて確保された地方費2分の1でございます。

基礎となっている事業同様、意欲ある農業者に対して、経営発展に必要な農業用の機械等の導入を支援するという事業でございます。事業後3年後には売上高が10パーセント以上、事業の拡大また経営コストも10パーセント以上の縮小にするとの目標が課されているものでございまして、全国的に非常に需要が高いわけですが、静岡県内においては森町のみの採択となっております。

対象者でございますが2件ございます。1件目は佐野ファーム、これは谷中地区でございますが、中間拠点施設の建設、トラクター、乗用レタス移植機、ラジコン動力噴霧器等の整備でございます。もう1件については、薄場の花島重敬さんですが、乗用の茶の防除機の購入ということでございます。

続いて産地パワーアップ事業費補助金24,446千円でございます

が、こちらも27年度のT P P 関連の対策事業でございます。平成28年度本年度も補正において確保されたものでございます。この事業につきましても、意欲ある農業者等が行う高収益な作物栽培体系への転換を図るための取り組みを支援し、生産者の所得向上、生産拡大による産地競争力の強化を実現すると。機械のリースの導入、施設建設、資材購入等が対象でございます。補助率は2分の1となっております。

事業主体につきましては、遠州森鈴木農園株式会社でございます。事業内容でございますが、集出荷貯蔵施設を1棟、育苗ハウスを1棟設置するものでございます。

続きまして、山村振興地域茶業振興整備事業補助金6,760千円でございます。これは平地と比べて生産条件が不利な山間地域での農業振興を目的として、県単で中山間地域の農業振興整備事業を行う3戸以上の団体に対して採択となり、町においては、お茶に作物を限定しまして10分の1の付け増しをする補助でございます。

県の補助率については、事業内容ごとに違うわけですが、2分の1から3分の1と定められておりまして、今回は荒茶製造工程への色彩選別機1式の導入として、設置するものでありまして、県の補助町の補助合わせて約43パーセントが交付されるというものでございます。事業主体につきましては、結いまーる株式会社となっております。以上です。

議 長  
防 災 監

( 片 岡 健 君 ) 防災監。

( 富 田 正 治 君 ) 防災監でございます。9・10ページ、9款1項3目、消防施設費についてお答えします。修繕費4,137千円の箇所・場所についてのご質問です。

箇所数については2箇所、場所につきましては遠江総合高等学校前の歩道上の消火栓、それと上飯田公民館の東側の消火栓の2箇所でございます。

内容につきましては、まず遠江総合高校前の消火栓については、歩道上に設置されているため、歩行者の通行に危険が生じていること

から、兼ねてから地下式の消火栓に変更の要望があったところがございます。しかし、同じところで更新をしますと、水道の本管までの管が耐震化されていないため広範囲に工事が必要になってきます。そこで耐震化された水道管に近いところで、新たに地下式の消火栓を設置するものでございます。そのため土木工事がかさんで、税込みで2,732,400円の工事費となっております。

2箇所目の上飯田公民館東側の消火栓につきましては、設置箇所が、高さおよそ2メートルの水路に接近したところに置いてありますので、そちらの消火栓の工事とともに転落防止等の対策をするために、若干上乘せさせていただきまして1,404,000円の見込みをしているところでございます。

以上2箇所を合わせまして4,137,000円の計上をさせていただいたところ です。以上です。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありませんか。

3番、伊藤和子君。

3番議員 ( 伊藤和子 君 ) 私から2点お伺いさせていただきます。1点目は、歳出、8ページ、3款1項4目、0003になります。こちら介護者の肉体的労働負担の軽減また補助的役割をする上で、これからこの介護ロボット等の導入の支援事業、進められていくと思うんですけれども、こういった事業者が多くなる中で、交付金を受ける事業者名がお分かりになりましたら教えていただきたいと思ます。

2点目、10ページ、8款2項3目、0001町単独道路改良事業についてお伺いたします。こちらの改築工事に伴う用地の買収費1,113千円ですけれども、この用地の面積と単価、今後の歩道拡幅工事の日程等がお分かりになりましたら、分かる範囲内でよろしいですので、教えていただけますでしょうか。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 保健福祉課長。

保健福祉課 長 ( 村松成弘 君 ) 保健福祉課長です。ただいまの伊藤議員のご質問にお答えいたします。1点目の介護ロボット等導入支援事業

特例交付金の事業者名ということでございますけども、一宮の森町愛光園、本体になります。9月補正で森町愛光園の天宮サテライトの方で導入いたしまして、その当時は補助上限額が927千円というところで、一事業所のみということで対象になりましたけども、国の方で、事業の取下げをする市町村があったものですから、それで、この補助要件のところ、今回本体の方が手を挙げたということでございます。以上です。

議長  
建設課長

( 片岡 健 君 ) 建設課長。

( 村松 弘 君 ) 建設課長です。用地取得費についての内容でございますけども、買収をするのは一筆でございますして、面積が120.62平米で、単価ですけどもここについては一部宅地課税、一部畑課税ということで、宅地と畑に利用されております。したがって、宅地で買わせていただくところが60.62平米、単価が15,180円、畑で買わせていただく部分が60平米、単価が3,209円。合わせて1,112,750円ということでございます。

それから今後のスケジュールでございますけども、今年来年にかけて、歩道の整備ということでございまして、今年歩車道、車道と歩道の間縁石等のブロックとかいったものを整備しまして、来年につきましては、その部分がもう少し東の方に伸びる部分もありますけども、歩道の舗装というようなものを実施していきたいということで、来年には完成するというところでございます。以上です。

議長

( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありますか。

5番、吉筋恵治君。

5番議員

( 吉筋恵治 君 ) 9・10ページ、8款4項1目、0002、建築物等耐震化促進事業費補助金でございますけれども、この補助金は従来から耐震化促進を進めてきて、継続的にされておりますけれども、町内を見回しますと、地震に弱そうな建物がたくさんあります。この町にこの補助金で、現在どのぐらいの耐震化が、パーセントというとなされてきたのか。この補助金を使った今までの利用率というのは、どうであったのかを教えてくださいたいと思います。

議長  
建設課長

( 片岡 健 君 ) 建設課長。

( 村松 弘 君 ) 建設課長です。今回の耐震の補助につきましては、熊本地震の影響で国の方が交付金の制度を少し変えて、補助金を上げたということで、県の方はこの補助金を活用しての制度ではございません。単独で「TOUKAI-0」という補助制度を設けておりました、国の交付金制度の改正に倣って、県の方も単独で補助金を上乗せをしております。したがって、補助金については限定的に来年1月から29年度末(30年の3月まで)ということで、補助を増額させていただいております。

ご質問の過去の利用でございますけれども、この補助については、56年以前の建物について、木造について補助するということでございまして、耐震の補助を受けた軒数は、昨年11月までで56軒でございます。

耐震化につきましては率で申し上げますと、一応計画としては90パーセントを目標に進めているわけですが、まだそこまでは到達をしていないということで、細かな数字は持っていませんが、土木事務所と連携をしまして、各地区に職員が出向いて、耐震の計画の策定から工事に向けての意志があるかどうかというようなことも、訪問させていただいておりますし、ダイレクトメールで対象のお宅にご連絡をさせていただいたりしております。

ただ、費用が結構かかるものですから、高齢者のお宅は補助金を増額はしておりますけれども、なかなか耐震の診断は受けても、工事までは考えていないという方もいますので、今後も引き続き制度が続く限り、この制度を利用して耐震工事をやっていただけるようご案内をしていきたいと考えております。以上です。

議長  
5番議員

( 片岡 健 君 ) 5番、吉筋恵治君。

( 吉筋恵治君 ) ちょっと離れる質問かもしれませんが、関係ないから答えられないといえば、それでいいと思います。

町では、今空き家対策で、いろいろ人を入れたいという方向で検討していると思います。私もこの3年間に4軒の住宅を紹介して入



っていただいております。今年も黒石に1軒、来年西俣に1軒入ってまいりますけれども、その家が古い家だから入ってくるという方も今年いらっしゃいました。

そういう場合は、耐震化がもし基準になっていない場合は、私も議員が紹介をしていいのかどうか、今の話を伺いながら思ったんですがね。その辺はどのように、耐震化されていないのに、議員が一生懸命空き家に入人を入れているのかという話になるかもしれません。ちょっと迷ったので、この場を借りて質問させていただけるとありがたいと思ったんですが。

議長 (片岡 健 君) 建設課長。

建設課長 (村松 弘 君) 建設課長です。空き家については、ただいま調査をさせていただいている最中のごさいますて、年度末までには、いろいろな情報が少しずつ分かってくるかと思うわけですが、私の方の立場から言いますと、耐震性がない建物にどうぞというのはなかなか言いづらかなかというところがあります。ただそこはですね、民間の方達の約束の中でやられる話ですので、我々の方としては耐震をお願いしますということしか言えないです。

補助金の関係ですけれども、前からもいろいろご質問がありまして、リフォームの補助金がどうかとかというご質問もいただきまして、耐震をメインに、町の方は進めていくというようなお答えをさせていただいております。

移住・定住は、空き家とも関係はしてきますけれども、空き家以外の部分にも関わってくるかなと思っていますので、また別のステージで議論すべきかなと。個人的な意見になってしまったかもしれませんが、そんなふうに考えています。以上です。

議長 (片岡 健 君) 他に質疑はありませんか。

7番、鈴木托治君。

7番議員 (鈴木托治 君) 7番、鈴木です。9・10ページ、橋梁維持改良費についてご質問いたします。当初55,000千円くらいの予算がついていて、今回また7,000千円の追加補正になっているわけです。

けど、この4月以降、どのくらいの点検が終わっているのか、達成度がどのくらいなのかということと、あとまさか点検は目視やっているわけじゃなくて、当然機械とか何かいろいろ使って強度を調べていると思うんですけど、その内容を質問いたします。

それと、町にはどれぐらいの対象の橋があるのかどうか、それももし分かっているならば教えていただきたいと思います。

議長  
建設課長

( 片岡 健 君 ) 建設課長。

( 村松 弘 君 ) 建設課長です。町にあります橋梁数は、全部で286橋でございます。これはですね、5年に1度点検となっておりますので、5年間にある程度平準化させていただいて点検をさせていただきたいということで、進めさせていただいております。

今年については、今回の補正の部分を加えさせていただいて62橋の計画になっておりますけども、県に一括で、15メートル以上の長いものについては、県の方をお願いしております。それから15メートル未満のものでも、業者の方に委託をかけて点検していただいている部分と、手軽と言うと言葉が悪いですが、小さい橋については職員が点検するというところでございまして、今現在、点検中でございます。ですので、これから点検の終わったものについて、順次報告が上がってくるかなということで、今現在何橋完了しているかということは、まだお答えできる段階ではございません。

それから点検の方法でございますけども、これはあくまでも初期的な点検ということで、目視と、橋を叩いてコンクリートの剥がれとかがあるかどうか、抜けているかどうかとかそういった点検になります。

今回、中日本道路をお願いしている部分については、新東名に架かっている非常に大きな橋でございまして、これについては一橋だけでこれだけの金額ということでございますけども、高速道路を止めて点検するわけにはいきませんので、かなり大掛かりな通行規制というものをしながら、点検をしていただくということで、費用の方は大きくなっております。以上です。

議長 ( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありませんか。

8 番、西田彰君。

8 番議員 ( 西田 彰 君 ) 今回補正金額が125,789千円というわけですが、8 ページ、6 款 1 項 6 目、山村振興事業費、この事業費は結いまーるさんが本当に積極的に頑張っていたというところで、ありがたいことだと思います。

しかし、実はちょっと、結いまーるさんが近年掛川の方へですね、事業拡大をしているようです。特に吉岡の原ですか、あの辺を借りて事業を展開しているようです。地元も茶業組合が2つあるんですね。役員の方から直接話を聞きました。ちょっと管理が余りにも雑だと、非常に。例えば、土手とかは崩したまんまとか、草も刈ってくれないとか。そういったことで森町のイメージを悪くするような状況ではないかと。その話を聞くとね。それは一つの茶業組合の役員さんと、もう一つの、その人は役員じゃなかったかもしれませんがその近辺に住む人で農業もやっておられる方、お茶もやっているという方で、その方もそう言っておられました。

積極的に事業展開していただくのは、本当に嬉しいことなんですが、町外に出て行って事業をする場合には、ある程度地元の人たちの理解を得た上で、よくやってくれるやーってぐらいの事業展開でないと、森町としても少しイメージが悪くなるんじゃないかと。そういったものの指導が産業課でできるのかどうか、お聞きします。

議長 ( 片岡 健 君 ) 産業課長。

産業課長 ( 三浦 強 君 ) 産業課長です。ただいまのお話でございますが、私自身も初めて聞くことでございますし、当然担当者も初耳だと思います。この事業は、農業者の方からこういう要望があれば、補助事業の利用の相談については、県あるいはJ A、生産団体とも協議して、国、県あるいは町の制度の中から対象になる最適な事業を選択して、活用を案内しているというのが補助事業のやり方ですが、お話のありましたことは、事実関係はともかく、私自身も把握しておりませんでしたので、今後こういうことはないように、

また指導していくつもりでございます。

この事業で整備した施設の管理運営については、この事業の趣旨に即して、適正に行われているかどうかというのも、実施主体に市町が指導するという役目がありますので、その点も含めてご理解いただきたいと思います。以上です。

議長 (片岡 健 君) 他に質疑はありませんか。

10番、山本俊康君。

10番議員 (山本俊康 君) 7・8ページ、今西田議員からも中根議員からも質問がありましたが、この農業振興事業費、山村事業振興費、それぞれのどの方がどれくらいの、受益者負担というんですかね、事業者全体の金額と受益者負担がどれくらいあるのかというのが分かったらお教えをいただきたいし、山村振興事業費の中には、町も10パーセントつけているということで1,560千円を一般財源で充てているわけですが、上の方の農業振興事業費については、町独自の補助はつけていないわけですが、今までこういうものについて、町として補助してきた経過があるのかなのか、そこだけ少しお教えいただきたいと思います。

9・10ページ、消防施設管理費で、先ほどの話ですと、遠江総合高校の前と、上飯田公民館の前ということですが、上飯田公民館のところについては、橋が架かっていて睦実川を横断して公民館へ入ると。その橋の上流側の県道袋井春野線の法面の一部のようところに確かこの消火栓があったかと思うわけですが、今あそこのところの飯田小学校それから飯田幼稚園、あそこのところの大きな交差点については県にお願いをして、今だいぶ交通渋滞も起きておりますし、旭が丘中学校へ通う生徒もあそこを自転車でかなりの方が通るといことで、横断をするのに歩道が狭すぎるということ危険箇所として、今改良を袋井土木にお願いをしているところですが、警察の許可がなかなか下りない。

これはなぜかという、あの交差点は余り曲がってはいけない、要するに直進性がないとなかなか許可が下りないということ、今

は下から来た車が東組の方に右折のを作ってもらったんですが、まだこれから改良が進むだろうと思っています。今回この消火栓が、将来的に改良工事をしていただくときに支障になるのかどうか、そこら辺を事前に調べていただいているかどうか。その点を一つ確認をさせていただきたいと思います。

それから11・12ページ、教育振興費で今回図書の購入ということで、これについては以前からも寄附をいただいている藤本商会さん、それから匿名の方から多額のご寄附をいただいて、今回この図書の整備をしていくということのようですが、整備をする学校が、どの学校にということが分かりましたらお願いをしたいと思います。以上です。

議長  
産業課長

( 片岡 健 君 ) 産業課長。

( 三浦 強 君 ) 産業課長です。ただいまのご質問でございますが、最初に担い手確保・経営強化支援事業費補助金でございます。この事業でございますが、2分の1補助ということでございますので、新たに佐野ファームさんにつきましては、事業費税抜きで11,812,640円の2分の1が補助されるということで、その半分が、5,904,000円ほどが自己負担ということでございます。花島重敬さんにつきましては、税込みで、これも2分の1補助で補助額が2,648,000円ということですので、事業費の2分の1が自己負担ということになります。それぞれ、多分これは融資事業でございますので、融資がされてくるんじゃないかと思います。

次に、産地パワーアップ事業費補助金です。これにつきましても、2分の1以内ということでございますので、全体事業費が52,805,500円税込です。税抜きで48,893,981円ということで、補助額が24,446,000円で、事業費の半分が自己負担ということになります。

あと、山村振興事業費でございます。結いまーるさんですが、全体事業費が16,848,000円、税抜きで15,600,000円となっております。県の補助が5,200,000円、町の補助が1,560,000円、合計で6,760,000円となっておりますので、事業主体の負担としまして、差引きし

ますと1,008,800円が自己負担ということでございます。

なお、農業振興費の中の担い手確保、産地パワーアップでの町の一般財源での負担ということでございますが、これ新たな事業でございますので、その経過はございません。以上です。

議 長  
防 災 監

( 片岡 健 君 ) 防災監。

( 富田正治 君 ) 防災監です。飯田小学校前の消火栓の更新についての答えですが、現在地上式の消火栓がついているものを、そのまま新しいものに更新するという考え方で行っておりました。確かにその拡幅に関して、まだ確認が取れておりませんので、土木事務所の方に一度確認をしながら事業を進めていきたいと思いません。

また、消火栓が止まったままではいけませんので、上部の方の更新の方は順次していきたいと考えております。以上です。

議 長  
学 校 教 育  
課 長

( 片岡 健 君 ) 学校教育課長。

( 西谷ひろみ 君 ) 学校教育課長です。いただいた寄附をどの学校に配分するのかというご質問であります。今回匿名でいただきました1,000千円につきましては、ご本人の意向で全ての小中学校に図鑑を贈りたいということでありますので、小中学校とも各校125千円を目安にご指定いただいている図鑑の内、既に学校に所蔵しているものもありますので、その辺も考慮した上で各校に選書をさせていただきたいと考えております。

また、藤本氏からの2,000千円につきましては、小学校中学校にそれぞれ1,000千円ずつということでありますが、25年度に初めていただいた際には、母校である森小学校と森中学校へというお話でありましたが、昨年度から学校は指定しなくてもいいということでありますので、文科省が示している標準図書の数に充足していない学校が、小学校では宮園小学校、中学校では泉陽中学校ですので、その2校の額を多くした上で、全校に配分していきたいと思っております。以上です。

議 長

( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありませんか。

議 長 ( 発言する者なし )

( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。

日程第8、議案第85号「平成28年度森町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

10番、山本俊康君。

10番議員 ( 山本俊康 君 ) 今回この中で出てまいりましたのが、該当職員が退職したということに伴って、その業務を国保連合会に委託していくという提案でございました。実際今まで職員の方がやられていたものを国保連合会に委託するということになりますので、そこら辺が今までと委託をするのと、かなりの差が出るのか、そう変わらないのか、そこだけちょっとお聞きをしたいと思います。以上です。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 住民生活課長。

住民生活 ( 幸田秀一 君 ) 住民生活課長です。ただいまの質問でございますが、国保連合会に委託した場合でも、これまでと同じような成果が得られると思いましたので、そのような判断をいたしました。金額的には若干安くなるのかなということで考えております。以上です。

議 長 ( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議 長 ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。

日程第9、議案第86号「平成28年度森町介護保険特別会計補正予算(第2号)」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議 長 ( 片岡 健 君 ) 「質疑なし」と認めます。

日程第10、議案第87号「平成28年度森町水道事業会計補正予算(第

2号)」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

3番、伊藤和子君。

3番議員

(伊藤和子君) 今回のこの修繕費5,500千円につきましては、漏水修理件数が10月末までの前年度比較で12件から16件と4件増加したこと、北戸綿工業団地内での250ミリ管の漏水の修理、城下地内での漏水の修理、バルブ類の取替え等に多額の費用を要したため、過去の実績などから見込まれる修繕費の不足の追加をお願いするものと、前回の町長の提案説明の中で話がございました。

この漏水の修理件数が増加しているということで、今後ですね、見通しとか、また増えていくのか、老朽化に伴って、ちょっと心配な部分がございますので、この見通し等が分かりましたら教えていただきたいなと思います。お願いいたします。

議長  
上下水道  
課長

(片岡健君) 上下水道課長。

(高木純一君) 上下水道課長です。ただいまのご質問にお答えします。提案理由の説明の中で、漏水件数が若干増加傾向にあるということを申しました。

ただですね、今回今年度の件数が突出して多いというわけではございません。過去からの実績を拾ってみたんですけども、例えば平成20年度は年で63件ほどございました。27年度は36件程度ということで、年度ごとに凸凹はあるんですけども、年々減少傾向にあるということで、これは配水管の布設替に当たりまして、漏水の箇所とか場所を見ながら、集中的に起こるところを優先して布設替をしてきた成果だと思っています。そういったことで、件数自体はむしろ年々減少傾向にあります。

今回については、先ほど申し上げましたように、城下地内若干多いということでございます。城下地内につきましては、将来下水道管の布設というような事業もございます。その辺配水管の布設をどのタイミングで行うというのもちょっと課題となっておりますので、



課題ということでご承知いただきたいと思います。

金額的に大きいのは、先ほど議員もおっしゃいましたが、北戸綿工業団地内で、工業団地内と申しましても、インター側にフジコーポレーションという会社が一番端の方にあると思いますが、あそこから先に杭瀬ケ谷橋というところがございすけども、そこにある250ミリ管がコンクリート構造物の下にあったということで、修理の施工がなかなか困難であったということと、排水溝の下を曲がった管、曲管といいますが、そういう特殊な材料が多かった関係で金額が伸したと。

そういったこととございすので、将来的に特段増えていくとは考えていません。ただ他の突発的な漏水ですとかは起こりますんで、対処がすぐにできるように、これからも準備はしていきたいと考えております。以上です。

議長 (片岡 健 君) しばらく休憩をいたします。

(午前10時41分 ~ 午前10時55分 休憩)

議長 (片岡 健 君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第87号について質疑を行います。

質疑はありませんか。

(発言する者なし)

議長 (片岡 健 君) 「質疑なし」と認めます。

日程第11、議案第88号「平成28年度森町病院事業会計補正予算(第3号)」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

8番、西田彰君。

8番議員 (西田 彰 君) 1ページ目の患者給食業務委託の関係で質問させていただきます。今の患者給食も委託をされていると思いますが、現状の説明をしていただければと。どのくらいの金額で、どのくらいの規模でやられているか。確か島田病院だったと思うんですけども、ちょっと反対運動が起きているようなんですね、民間

委託することに対して。結局、患者さんって一人一人が全部違うわけじゃんね、食べるものが。それが民間委託されて本当に患者に沿った給食が、食事が出されるのかどうかっていう不安があるということが最大の問題のようです。今回、28年度から31年度までを、委託をするということでプロポーザルの形をとるということでございますが、それによって安ければいいということになると質が落ちてしまうんじゃないか、患者一人一人に合った患者食が出されるのかどうかという心配も出てくるわけですが、その辺はいかがでしょうか。

議長  
病院事務局  
局長

( 片岡 健 君 ) 病院事務局長。

( 西谷 勉次 君 ) 病院事務局長です。西田議員のご質問にお答えします。まず患者給食業務委託でありますけれども、このたびプロポーザル方式によりまして、業者の見直しをするということでやるわけでございますけれども、プロポーザル方式では、見積もりによる評価と技術的な評価、それぞれで評価をしておりますので、ただ安ければいいということで選定する予定はしておりません。内容を良く吟味した中で業者選定をしたいと思っております。

それから患者給食業務の実態的なところ、現在は株式会社いわきゆうで、業務的には調理と配膳、そういった関係で約12名の調理員さんとかの方が従事しております。その献立の方がどうかというと、それにつきましては、現在病院の栄養科の栄養士さんが献立を作成して、それに基づいて患者給食のメニューを作成して、それを作って提供しているという状況であります。

予算としましては、管理業務ですね、人件費とかそういったものに関わる分と、実際の食数、それによりまして金額が決まってくるわけですね。これは実績に応じてお支払いしているわけですね。だいたい入院患者に対して1日100食分で計算してやっておりますが、そのトータルで今年度予算としては65,000千円ほど計上しております。

質の点については、できるだけ地元の食材を活用していただくと

か、そういったこともしていますし、あとアレルギーだとかそういったものも当然考慮していますので、そこら辺はメニューをしっかりと組んで、特別食の場合は患者に合わせた食事を提供しているというところが実態であります。以上です。

議 長

( 片岡 健 君 ) 8番、西田彰君。

8番議員

( 西田 彰 君 ) いま1年で65,000千円くらいということですが、28年から31年度まで120,000千円ということで、かなり安くなっているように思うんですけども、その辺はどうなんでしょうか。

議 長

( 片岡 健 君 ) 病院事務局長。

病 院

事務局長

( 西谷 勉次 君 ) ただいまのご質問でございますが、31年度まで120,000千円の限度額を設定しました。これについては、先ほど申しました管理経費分と食数による実績がありますが、こちらに設定している金額については管理経費分のみということで、年間今現在40,000千円ほどでございますので、3箇年の120,000千円と。28年度からということになってはいますが、具体的には来年の1月から、その準備作業が入りますので、移行するための準備作業期間を含めて28年度から31年度ということになってはいますが、実際の28年度の経費についてはかかっておりません。そういう状況でございます。以上です。

議 長

( 片岡 健 君 ) 8番、西田彰君。

8番議員

( 西田 彰 君 ) 今度の委託をプロポーザルでやると、現在のいわきゆうさんも応募する可能性もあるわけですね。分かりました、ありがとうございます。

議 長

( 片岡 健 君 ) 他に質疑はありませんか。

12番、小沢一男君。

12番議員

( 小沢 一男 君 ) 2ページ、医業費用の中の材料費46,850千円、これ町長のご説明ですと、がんとC型肝炎の特定治療費に使用する高額医薬品の使用量が増加傾向にあるという、この補正の提案理由で説明されました。この中でがんとC型肝炎の方が増えてきているのかという単純な考えで、わずか1万8千の人口の中で、こ

れから増える傾向にあるのか、増えているのか現実に、とすれば、もう少し細かな説明をお願いします。

議長 (片岡 健 君) 病院事務局長。

病院事務局長 (西谷 勉次 君) 小沢議員のご質問にお答えいたします。提案理由でありましたとおり、がん、C型肝炎、リウマチ、小児の血友病などの疾患をもった主に外来患者に対しての治療として、医療の進歩に伴いまして、特定治療に使用する高額医薬品の使用量が増加傾向ということで、今回増額補正をするものでございますが、その患者さんが増えているかということ、そこまでのデータとしては持っておりませんが、たまたまその病気を持った患者さんに対しての特効となる高額医薬品の使用量が増加したということで、今回補正をしておるわけでございます。以上です。

議長 (片岡 健 君) 12番、小沢一男君。

12番議員 (小沢 一男 君) 単純に医薬品の額が上がったということでございますか。

議長 (片岡 健 君) 病院事務局長。

病院事務局長 (西谷 勉次 君) 医薬品の額が上がったかということでございますけれども、このがんとかC型肝炎、そういった患者に対しての、医薬品の特効性がある高額医薬品が開発されて、これはジェネリックではありません、先発医薬品でありますので、その医薬品自体が非常に高額なものであります。高額医薬品のリストとして、こちらにありますけれども大体26種類、それに関連した高額医薬品がございます。そういったところの使用量が増えたということでございます。以上です。

議長 (片岡 健 君) 他に質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議長 (片岡 健 君) 「質疑なし」と認めます。

日程第12、議案第89号「静岡県市町総合事務組合規約の変更について」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ 発言する者なし ）

議長 （ 片岡 健 君 ） 「質疑なし」と認めます。

日程第13、議案第90号「辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定について」を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（ 発言する者なし ）

議長 （ 片岡 健 君 ） 「質疑なし」と認めます。

日程第14、議案第91号「森町道路線の廃止について」及び日程第15、議案第92号「森町道路線の認定について」議案2件を議題とします。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

5番議員 （ 吉筋恵治君 ） これは三倉地域の乙丸、田能それから大久保でございますが、5年で105,000千円という整備計画でございますけど、この計画が、私はあの道を時々使うものですから、大変不便で狭い、雨が降ると道路が川になるということで、この計画どおり順調に進んでいくと地域の人の利便性は上がるな、そんなふうに思うわけであります。この路線が計画通り進んでいくといいなというふうに私は思いますが、廃止をされる路線につきましては、今後も使うことができるのか、それともできないような処理をするのか、1点お聞きをしたいと思います。

議長 （ 片岡 健 君 ） 建設課長。

建設課長 （ 村松 弘 君 ） 建設課長です。今回お願いをしております廃止の路線でございますけど、ルールに基づきまして、終点が変わるということで、一旦全路線を廃止して、全路線をまた認定するというところでございます。認定の図面をご覧になっていただきたいんですが、赤い線で認定のお願いしている路線がございます。その右

側に破線で表示させていただいているところがございます。そちらの路線を廃止ということで、現実的には、道路として使わないのはその破線の部分になります。

現地に行っていただくとお分かりになると思いますが、実際には、ここはかなり前から道路としては用をなしていないということで、通常原野のようなかたちで通行ができる状態にはございません。したがって、道路として廃止ということでございますので、今後道路として利用することはないというふうに考えております。以上です。

議長 (片岡 健 君) 他に質疑はありませんか。

( 発言する者なし )

議長 (片岡 健 君) 「質疑なし」と認めます。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次回の議事日程の予定を報告します。

12月19日午前9時30分、本会議を開会し、議案に対する討論・採決及び一般質問を行います。

本日は、これで散会します。

( 午前11時12分 散会 )